

令和6年 6月 20日

# 令和5年(2023年度) 学校関係者評価 報告書

一般財団法人 積善会  
愛媛十全医療学院  
学校関係者評価委員

一般財団法人積善会 愛媛十全医療学院 学校関係者評価委員は、令和5年度の学校運営に対する自己評価・外部委員評価に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

1 実施日：自己評価 令和6年 4月  
外部評価 令和6年 5月～6月

2 実施方法：特別支援学校校長会会長の交代に伴い、宇和特別支援学校の松本淳校長先生を新たに外部評価委員に迎え、3名の外部委員には、施設訪問、web対応、電話連絡等の方式による個別対応とファイル形式での評価方法により実施した。  
なお、対面による会議形式での委員会開催はコロナ禍を経て、必要な場合に限った開催へ変更した。

## 3 学校関係者外部評価委員

松本 淳 愛媛県特別支援学校校長会 会長  
伊藤 雄規 十全総合病院 リハビリテーション科技師長  
青木 進治 介護老人保健施設 希望の館 作業療法士

## <内部委員>

松田芳郎 (愛媛十全医療学院 学院長)  
田中信政 (愛媛十全医療学院 事務長)  
福田 靖 (愛媛十全医療学院 教務科長)  
岩本英毅 (愛媛十全医療学院 理学療法学科 学科長)

## 4 学校関係者評価の内容と実施状況

### 1)学校関係者評価の目的と方針

- ①関係業界・職能団体、高等学校、学生保護者、地域住民などの学校関係者が、本学院の自己評価の結果を評価することを通して、学校運営・教育活動を確立し、その客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者評価により明確となった学校運営・教育活動における課題の改善を図る。
- ③学校関係者の外部評価は、自己評価を基に、「専修学校における学校評価ガイドライン」及び本学

院の学校評価実施規定に則り実施する。

### 2)評価方法と公表

学校関係者評価の実施にあたっては、当該年度に実施した「自己点検評価」を学校関係者委員の皆様にご確認いただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価をとりまとめた。  
各項目の評価結果や総評は、今後の本学院における教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページへ公表いたします。

## 5 学校関係者評価・意見

評価項目に対する学校関係者の評価及び意見や提案等を報告します。

- A 十分に達成している。 [達成度が高い]
- B 達成している。 [概ね達成しており改善を要しない]
- C 達成がやや不十分である。 [若干の改善を要する]
- D 達成が不十分である。 [不適合がある、改善を要する]

## 6 学校関係者評価項目

- 項目1 教育理念・目標・方針
- 項目2 学校運営
- 項目3 教育活動
- 項目4 教育成果
- 項目5 学生支援
- 項目6 教育環境
- 項目7 学生募集と受け入れ
- 項目8 財務
- 項目9 法令等の遵守
- 項目10 社会貢献・地域貢献

以下、評価項目に従い、自己評価ならびに学校関係者委員による結果と総評(意見等)を報告いたします。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目1 教育理念・目的・方針

評価報告(最終)

点検項目	自己評価	外部委員評価		
		松本	伊藤	青木
① 学院の教育理念や目的、育成人材像は定められているか	A	A	A	A
② 学院の教育理念や目的、育成人材像が明文化され公表されているか	A	A	A	A
③ 学科ごとの教育方針が明文化され公表されているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由(他、課題や対応があれば)

開学より「建学の精神」を基本とし、誠の医療を常に提供できる医療人を目指すべき人材を育成している。  
 学院のHPでは、ディプロマ・カリキュラム・アドミSSIONの3ポリシーを掲載し、誰に対しても基本方針が理解できるように公開している。  
 学生に対しては各学科・学年でのガイダンスや前期・後期のオリエンテーションにおいて冊子媒体を活用し説明している。  
 学生募集に際しても、オープンキャンパス等で「建学の精神」を伝え、当学院の目指す教育理念・目標を丁寧に説明した。  
 また今年度より保護者会総会を再開し、学院の教育方針等を説明した。

項目2 学校運営

点検項目	自己評価	外部委員評価		
		松本	伊藤	青木
① 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	A	A	A
② 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されてるか、有効に機能しているか	A	A	A	A
③ 国のガイドライン等で定める基準が遵守されているか	A	A	A	A
④ 情報システム化による業務の効率化が図られているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

前年度の学生動向や官公庁の指針、規則改定などをふまえ、学内で継続的に審議し次年度に向けての事業計画を立案している。  
 運営会議、カリキュラム検討(FD)委員会・協議会等、学則に明文化している。  
 国の基準に従い、各職能団体が提示している業務指針及びガイドラインを参考に、必要に応じて学則の改定等を実施している。また、第三者機関の審査規定を遵守し、自己点検をしながら適宜クリアしている。  
 情報システム化については、コロナ禍における対応を継続し、教職員の情報共有が円滑に進むよう整備がなされている。  
 しかし、学生の教育に必要な整備については不十分な点もあり、今後の課題として取り組みたい。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目3 教育活動

点検項目	自己評価	外部委員評価		
		松本	伊藤	青木
① 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	A	A	A
② 教育目標に応じた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	A	A	A
③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	A	A	A
④ 関連分野の医療施設との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	A	A	A	A
⑤ 授業評価の実施・評価体制はあるか	A	A	A	A
⑥ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	A	A	A	A
⑦ 成績評価・単位基準・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	A	A	A
⑧ 人材育成、目標に向け講義を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	A	A	A	A
⑨ 関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取り組みがおこなわれているか	A	A	A	A
⑩ 教員の能力開発のための研修等が行われているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

建学の精神に沿った教育を目指し、教育課程の編成・実施を行った。また、養成施設指導ガイドラインの改正に伴い、適宜対応を行った。シラバスを公開し、3年間の学習過程を可視化することにより、学生自身が主体的に学ぶことが出来る指導体制を図ることが出来た。外部関係者からの評価を取り入れ、学内の教育の質の向上を図る取り組みを行った。FD委員会を中心に、学科等のカリキュラムが体系的に編成されているか確認をし、必要に応じて見直しを行った。また、学生の授業評価を各期ごとに実施し、講義内容の見直しを行いながら時代に即した教育を目指して工夫・実施を行っている。各専門分野ごとに、豊富な臨床経験を有する教員並びに非常勤講師を配置して、先端的な講義が行われるよう取り組んでいる。教員の能力開発のための研修については、on-line講義等の時代に即した内容も加味して今後工夫した講義が行われるよう、取り組んでいきたい。

項目4 教育成果

点検項目	自己評価	外部委員評価		
		松本	伊藤	青木
① 資格取得率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
② 就職率の向上、維持が図られているか	A	A	A	A
③ 退学率の低減が図られているか	B	B	B	A
④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

常に国家試験合格率100%を目指し、国家試験対策講義や模擬試験を実施し個々の学生に応じた学科別対応・ゼミ形式の指導・個人指導等を行っている。  
 ▶ 理学療法学科 新卒者 合格率 100% (全国平均 95.2%) \* 昨年100%、一昨年91.4% 就職内定率:100%(3月末時点)  
 ▶ 作業療法学科 新卒者 合格率 95.5% (全国平均 95.3%) \* 昨年94.4%、一昨年100% 就職内定率:100%(3月末時点)  
 学生の希望に応じて就職指導を行い、就職試験についての細かなサポート(面接指導、履歴書指導)により就職率の向上を目指している。退学率の低減を目指して適宜学生面接を行い、学生の状態の把握に務めている。成績不良、金銭的理由で退学する者はいたが、学生全体では退学者数は昨年より半減した。理学療法学科(今年度3人、昨年度7人)、作業療法学科(今年度3人、昨年度8人)。学業に支障が無い範囲で、積極的にボランティア活動への参加を推奨している。卒業後は、各種専門職団体を通じて社会的な活動を行っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目5 学生支援

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	就職に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
②	学生相談に関する体制は整備されているか	A	A	A	A
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	B	A	B	B
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A	A	A	A
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	C	B	B	B
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	B	B	B	A
⑦	保護者と適切に連携しているか	A	A	A	A
⑧	卒業生への支援体制はあるか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

①求人閲覧室を設置し学生はいつでも求人情報を得られる環境にある。また、担任を中心に就職活動の支援を行い、円滑に内定を得られるよう取り組んでいる。
②学生相談については、適宜担任により面接を行い常に学生の状況を把握するよう努めている。また、必要に応じて学内カウンセラーへ繋げて早期の対応を図っている。
③成績優秀者への学費免除等、特待生制度による経済的なサポートを行っている。また、学納費に困窮した場合の相談も個別窓口を設け対応している。
④附属病院において健康診断を実施し、健康状態の把握に努めている。また、体調不良者は附属病院での受診等、医療面においての支援体制を整備している。
⑤課外活動は、学生自治会等を通して活動している。また、自治会主体のボランティア活動へのサポートも行っている。
⑥入学時の宿舎案内、各種任意保険、生活防犯対策、実習生活の対策等ガイダンス時に外部から専門家・講師を招き対応している。
⑦保護者への情報提供として、メール等を活用して必要に応じて連携を図っている。また、保護者面談を行い、学院での学習状況を説明し適宜連携を行っている。
⑧同窓会活動を通じて、卒業生との連携を図る機会を設けている。

項目6 教育環境

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	B	B	B	B
②	学外の実習施設について十分な教育体制・生活環境を整備しているか	A	A	A	A
③	防災に対する体制は整備されているか	C	C	C	C
④	図書など教育上必要な資料が系統的に整備されているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

指定規則、ガイドライン等で定められている基準に従って整備されている。また、指定規則、ガイドラインの改正に伴って適宜整備を行っている。
基本的に on-line 講義は実施していないが、システムは常時使用できるよう継続しており、臨床実習先での学生面接等で有効に利用している。
実習については、1)臨床実習指導者講習会での指導者との連携 2)実習施設整備及び宿舎の確保 3)コロナ禍における実習施設変更や振替
4) 宿舎費や移動にかかる交通費の一部負担など、学外実習についての教育体制・生活環境の整備を行っている。
定期的な消防避難訓練の実施により、災害時の対応のマニュアル作成から実施の取り組みを行っている。今後の課題として、耐震補強の工事等の実施が必要と思われる。
新規図書の購入と既存図書の整理をしながら、教育上必要な資料等の整理対応を行っている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

**項目7 学生募集と受け入れ**

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	学生募集活動は適正に行われているか	A	A	A	A
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A	A	A	A
③	学納金は妥当なものとなっているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

広報室を設置し、室長を中心に高等学校訪問を積極的に行い、教育内容・教育成果について説明を行っている。また、高校別のガイダンス等にも積極的に参加し、広く学生募集活動を行っている。また、オープンキャンパスを定期的を実施し、受験生や保護者に教育成果を伝える機会を設けている。入学者選抜要項が整備され、公表されている。また、ホームページにて入試情報・学納金・諸経費等についても公開している。

**項目8 財務**

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	A	A	A
②	財務について会計監査が適正に行われているか	A	A	A	A
③	財務情報公開の体制整備はできているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

年度末には、事業計画に沿っての反省と課題を整理し、年度初めには前年度の反省を踏まえ事業計画を立案して報告書を作成。報告書は、理事会・評議委員会へ提出し承認を得ている。財務の情報公開は法人本部にて一括掲示している。学院で申し出を受けた場合、紙面を提示する体制をとっている。

評価基準) A十分に達成している

B達成している

C達成がやや不十分である

D達成が不十分である

項目9 法令等の遵守

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	A	A	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A	A	A	A
③	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A	A	A	A
④	自己点検・自己評価の公開を行っているか	A	A	A	A

◆ 自己点検評価の理由

- ①毎年所管機関へ現状を報告している。重要事項については学院会議により決定している。  
 ②個人情報保護規程を設け、対応している。また、その内容を学生便覧に掲載し、学生に周知を行っている。  
 ③第三者機関(リハビリテーション教育評価機構)により定期的な評価を受け、その際に自己点検をし問題点について改善すべく取り組んでいる。  
 ④学院のホームページに一般公開している。

項目10 社会貢献・地域貢献

点検項目		自己評価	外部委員評価		
			松本	伊藤	青木
①	自治体事業への協力	B	B	A	B
②	地域住民への貢献、公開講座等を実施しているか	B	B	B	B
③	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	B	B	B	B

◆ 自己点検評価の理由

- コロナ禍で実施出来ていなかった活動や事業が徐々に実施可能となり、昨年度より社会貢献・地域貢献の取り組みが増えつつある。  
 ①愛媛バラスポーツフェスティバル ②傷害予防のための地元中学校へのストレッチ指導 ③えひめアビリンピック ④えひめねりんピック 等、  
 地域支援事業への参画を継続的に実施すべく、学生と一体となって取り組んでいる。  
 ボランティア活動は、学生の学業に支障のない時間帯や曜日になるため、学生の休日・休息日や自主勉強、健康やストレスなども考慮し、  
 学科、学年別、有志など無理のない範囲で行えるよう学院として可能な範囲で継続的にサポートしていく考えである。

## ◆ 学校関係者評価 総評(理由・ご意見等)

## &lt;松本委員による総評&gt;

全体として、細かな点まで配慮し学生を育てる取組がなされている。高齢化が進むことや障がいのある方々への支援が充実する必要がある現在において学院の卒業生に対する世間の期待は大きい。今後も優秀な卒業生を輩出し、医療の充実に貢献していただきたい。

ICT機器の活用などの情報化は避けては通れない。業務の効率化だけでなく、学生が治療を行う際にも大いに活用できることをしっかりと教育していくべきであると思う。そのためには教員が生成AIなども含めて、最先端の情報化の波に乗り遅れることのないように日々研鑽してほしい。

在学する学生の状況を十分に把握され、適切には指導されている。これに加えて、卒業生へのケアも更なる充実をお願いしたい。ミスマッチや職場での人間関係に悩むのはどの職種でも同じであり、この部分に手厚い関わりを持つことが入学希望者の増加に必ずつながると考える。就職後の一定の期間において、教員が職場を訪問し、卒業生の声を聴くとともに、職場の上司などから勤務の状況などを情報収集することで、現在の学生に不足している要素の発見にもつながる。

入学希望者を増やすためには、学院の知名度や信頼度を向上させることが必要不可欠である。そのために、地域貢献や社会貢献は非常に有効である。学生の社会参加意識の向上や自信にもなるので、今後もぜひ積極的に取り組んでいただきたい。

保護者や高等学校の教員などの受験させる生徒に関わるものとして重要視することは、①国家資格の取得率や就職状況などの出口に関する点、②カリキュラムにおいては実習などの現場との関わり度合、③学校の雰囲気(教員や在籍する学生の様子)の順が多いと推測する。よってホームページにおいてもこの部分をより強調し前面に押し出す必要がある。

## &lt;伊藤委員による総評&gt;

ここ数年にわたり外部評価委員として関らせていただき、近年のヒューマンシティや多様性への配慮など専門教育課程の学校運営や学生指導の難しさを改めて痛感しております。

国家試験合格率、就職率の向上維持、学力低下による退学率が昨年度比で半減したことなどは教職員と学生間のコミュニケーションの充実や適時指導の努力あつての成果です。

HPなど情報発信もリハビリテーションを目指す学生、保護者、学校関係者にも興味深く内容もサイトマップも分かりやすく非常に充実しています。

掲載のあったボランティアや学内活動の写真で学生達の真剣な取組みや笑顔が印象的でした。全国で頻発する地震や大規模災害の備えとして耐震補強と防災訓練の継続をお願いします。

母体・積善会が目指す「誠の医療」貴学の校是 博く学び 深く思い 厚く思いやる の旗の下、これからの時代を担うリハビリテーション専門職育成に大いに期待します。

## &lt;青木委員による総評&gt;

例年と同様に、自己点検評価の理由や学院webサイトを確認しながら評価させていただきました。

項目4、教育成果の③につきましては、昨年度と比べて退学者が減っているという記述を元に、評価を一段階上げさせていただきました。

また、項目5、学生支援の⑤につきましては、理由の項目より体制が整っているように感じましたので、同様に評価を一段階上げさせていただきました。

あと、耐震補強の工事の必要性に関しましては、早々に点検を行うなどの準備を進める方がよいかと感じています。

時代の流れに合わせてコロナ禍を経験したことで、個々はもちろん社会全体の多様化がますます進んできているように感じます。そのような中で学院運営や教育体制を整えることは本当に大変かと思えます。私自身職場を取り巻く変化に付いていくことの難しさを感じる中で、若手の同僚や同じく若手の他職種からの支えや助言のありがたさを強く感じることもあります。

今後の益々の学院の発展のためにも、さらに若い力を取り入れていただけたらと思います。